

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和4年8月22日

計画の名称	1 魅力ある住環境整備計画（第2期 入善地域住宅計画）														
計画の期間	平成23年度 ～ 平成28年度（6年間）					交付対象		入善町							
計画の目標															
入善町における誰もが安心して住み続けられる住まい・住環境を実現するため、町の実情を踏まえた具体的施策を立て、住まい・住環境を形成していく。															
計画の成果目標（定量的指標）															
A1 ・入善町への定住を推進する。 A1 ・町内における空き家の実態を把握並びに空き家所有者の意向を調査し、住宅市街地の整備・誘導計画策定の基礎調査とする。															
定量的指標の定義及び算定式										定量的指標の現況値及び目標値			備考		
										当初現況値 (H23当初)	中間目標値 (H25末)	最終目標値 (H28末)			
① 町営住宅の入居世帯数										217戸	220戸	231戸			
② 対象区域における空き家実態調査済面積 (対象面積 6,186haの内、空き家戸数、所有者、危険度等の調査済み面積割合)										0.00%	7.06%	100.00%			
全体事業費	合計 (A+B+C)	853百万円	A	379百万円	B	305百万円	C	169百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C)		19.8%				
事後評価（中間評価）															
○事後評価（中間評価）の実施体制、実施時期															
事後評価（中間評価）の実施体制						事後評価（中間評価）の実施時期									
						令和4年度									
入善町住まい・まちづくり課において実施						公表の方法									
						入善町のホームページにて公表									
1. 交付対象事業の進捗状況															
交付対象事業															
A 基幹事業															
番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	事業実施期間（年度）						全体事業費 (百万円)	備考
								H23	H24	H25	H26	H27	H28		
1-A1-1	住宅	一般	入善町	直接	町	公営住宅整備事業等（建替）	上原住宅(59戸) →西町住宅(47戸)、東町住宅(12戸) 新栲山住宅(30戸) →仮称くぬぎやま住宅(32戸) ほか駅南住宅集会場整備							367	
1-A1-2	住宅	一般	入善町	直接	町	住宅地区改良事業等計画基礎調査事業	空き家実態基礎資料の作成							4	
1-A1-3	住宅	一般	入善町	直接	町	住宅地区改良事業等	空き家再生等推進事業（実態調査）							8	
合計													379		
B 関連社会資本整備事業															
番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	事業実施期間（年度）						全体事業費 (百万円)	備考
								H23	H24	H25	H26	H27	H28		
1-B1-1	住宅	一般	入善町	直接	町	単独住宅整備	定住促進住宅整備 西町(32戸)、仮称くぬぎやま(48戸)							146	
1-B2-1	住宅	一般	入善町	直接	町	都市計画公園（入善南公園）新設整備	用地取得、委託、整備（西町地域）							158	
1-B3-1	住宅	一般	入善町	直接	町	町道 東五十里線歩道整備	歩道整備（東町住宅）							1	
合計													305		
番号	一体的に実施することにより期待される効果													備考	
1-B1-1	公営住宅整備事業等(1-A1-1)と合わせて一体的に整備することでコミュニティの形成促進を図る。														
1-B2-1	市街地における未整備の都市計画公園において、公営住宅整備事業等(1-A1-1)と合わせて一体的に、防災機能(一時避難 等)を持つ公園を整備することで地域住民の安心・安全で利便性の高い住環境整備の推進を図る。														
1-B3-1	公営住宅整備事業等(1-A1-1)と合わせて一体的に整備することで住民の住環境整備及び安全確保を図る。														

C 効果促進事業														全事業費 (百万円)	備考	
番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名	事業内容	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間 (年度)							
									H23	H24	H25	H26	H27			H28
1-C1-1	住宅	一般	入善町	直接	町	雇用促進住宅の土地買収	西町住宅3,240㎡ 仮称)くぬぎやま6,259㎡	入善町							16	
1-C1-2	住宅	一般	入善町	直接	町	既存町営住宅解体整備	上原住宅 59戸	入善町							30	
1-C1-3	住宅	一般	入善町	直接	町	移転整備に伴う移転補償	入居世帯数 32戸	入善町							9	
1-C1-4	住宅	一般	入善町	直接	町	入善町民間宅地開発事業補助金	優良宅地の誘導、定住促進	入善町							35	
1-C1-5	住宅	一般	入善町	直接	町	住まい街づくり計画策定	住政策指標	入善町							10	
1-C1-6	住宅	一般	入善町	直接	町	住まい街づくり推進事業	安心定住促進事業	入善町							33	
1-C1-7	住宅	一般	入善町	直接	町	住まい街づくり推進事業	ストック活用推進事業(空家・空地流通支援)	入善町							5	
1-C1-8	住宅	一般	入善町	直接	町	既存町営住宅駐車場接続道路側溝改修	48m	入善町							3	
1-C1-9	住宅	一般	入善町	直接	町	既存町営住宅集会場解体	駅南住宅集会場	入善町							2	
1-C1-10	住宅	一般	入善町	直接	町	既存町営住宅駐車場用地購入・測量・改修・整備	1,964㎡	入善町							22	
1-C1-11	住宅	一般	入善町	直接	町	東町町営住宅の土地取得	843㎡	入善町							4	
合計															169	

番号	一体的に実施することにより期待される効果	備考
1-C1-1	公営住宅整備事業等(1-A1-1)、単独住宅整備(1-B1-1)と合せ、土地購入することで周辺屋外環境整備の充実を図る。	
1-C1-2	公営住宅整備事業等(1-A1-1)により移転後の公営住宅を解体整備することで、土地の有効活用と住環境整備の促進を図る。	
1-C1-3	公営住宅整備事業等(1-A1-1)により転居の必要が生じる上原住宅入居世帯に移転補償することで、転居を円滑にすると共に、既存コミュニティの維持と拡充を図る。	
1-C1-4	公営住宅整備事業等(1-A1-1)と合わせて優良な住宅地整備を誘導促進することにより、持続可能な魅力ある住環境整備の推進を図る。	
1-C1-5	公営住宅整備事業等(1-A1-1)、単独住宅整備(1-B1-1)と合わせて住宅需要を調査し、住宅政策の指標を示すことでより効率的な住環境整備を進めることが可能となる。	
1-C1-6	公営住宅整備事業等(1-A1-1)にあわせて、複数世帯同居や親子近居に支援・助成することで定住促進・コミュニティ維持を図る。	
1-C1-7	公営住宅整備事業等(1-A1-1)にあわせて、既存ストック(空家、空地)の賃貸や流通に支援・助成することで定住促進・コミュニティの向上を図る。	
1-C1-8	公営住宅整備事業等(1-A1-1)と合せ、駐車場接続道路の側溝を改修することで住環境整備の促進を図る。	
1-C1-9	公営住宅整備事業等(1-A1-1)により移転後の付帯外構施設を解体整備することで、土地の有効活用と周辺屋外環境整備の促進を図る。	
1-C1-10	公営住宅整備事業等(1-A1-1)と合せ、付帯外構施設を整備することで、土地の有効活用と周辺屋外環境整備の促進を図る。	
1-C1-11	公営住宅整備事業等(1-A1-1)と合せ、敷地を拡張することで、土地の有効活用と周辺屋外環境整備の促進を図る。	

※交付対象事業については、できるだけ個別路線ごとに記載すること。

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況

I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況		・昭和53年度以前に建築され老朽化した公営住宅を取り壊し、新たな住宅を整備することにより、居住者が安心して住み続けられる住まい・住環境を形成した。 ・町内における空き家の実態を把握することで、空き家対策を進め、併せて、空き家を活用することで、移住定住施策を進めることができた。			
II 定量的指標の達成状況	指標①（町営住宅の入居世帯数）	最終目標値	231戸	目標値と実績値に差が出た要因	町単独事業においても、移住・定住施策を積極的に進めたため。
		最終実績値	257戸		
	指標②（対象地域における空き家実態調査済面積）	最終目標値	100.00%	目標値と実績値に差が出た要因	
		最終実績値	100.00%		
III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 （必要に応じて記述）		・公営住宅における住環境整備を合わせて進めることにより、地域住民も含めた安心・安全で利便性の向上が図られた。 ・住まい街づくり計画をもとに、定住促進や空き家・空地のストック活用を推進することができた。			

3. 特記事項（今後の方針等）

- ・定住促進施策や空き家対策においては、今計画での実績を踏まえ、有効かつ的確な事業展開を行う。

地域住宅支援 参考図面

計画の名称	1 魅力ある住環境整備計画（第2期 入善地域住宅計画）		
計画の期間	平成23年度 ～ 平成28年度（6年間）	交付対象	入善町

